

教学 IR の体制と教学改善事例について

1. 教学 IR の体制

IR (Institutional Research) とは、教育の質保証と大学改革の推進を目的に、データ分析を通じて、教育・研究・社会貢献活動や経営戦略の立案と意思決定等の支援に資する業務の総称です。そして、教学 IR とは、主に教学についての調査・分析を行い、よりよい教育活動につなげるための活動を行っています。

本学の教学 IR は、教学マネジメント推進会議の依頼を受け、関連委員会である教務委員会、入試広報委員会、自己点検・評価委員会等と協働してデータ収集・調査活動を行います。調査結果は、教学マネジメント推進会議や他の関連する委員会に提供され、意思決定に役立てられています。

なお、教学 IR は、統計解析やデータ分析に関する知識を有する専任教員が担当しています。

2. 教学 IR が関わる主な調査実施項目

- ①授業アンケート
- ②学期毎 GPA 並びに学期毎成績評価割合調査
- ③学修状況調査
- ④卒業時満足度調査
- ⑤卒業生状況調査
- ⑥入学時調査などその他教学マネジメント推進会議が指定する調査

3. 教学改善事例

2026 年 6 月に 1 年生に対する調査アンケートを実施しました。その結果、本学キャリアデザイン学科において、秋期の選択科目の一部が、興味の重複しやすい科目の同時間帯開講となっていることが分かりました。そこで、2026 年 7～8 月期の教務委員会において検討を行い、秋期の時間割を適切に変更しました。

今後も、各種の調査で教学面の改善に努め、またそれを広く公開していく所存です。